

南阿蘇村議会だより 「すいげん」が最優秀の特選に

熊本県内の町村議会が発行する広報紙を対象にした「議会広報コンクール」で最優秀の特選に南阿蘇村議会だより「すいげん」が選ばれ、その表彰式が11月12日に菊陽町図書館ホールにて開催されました。

議会広報コンクールは隔年で開催されており、今回は熊本県内の全町村である31町村からの応募があり、その中での最優秀の特選の受賞となりました。

議会広報特別委員会委員長の丸野健一郎議員からは「6年ぶりの受賞となった、今回は県内の全町村が参加しての受賞となったので特に嬉しい」「全体的に高得点を獲得することができたが、特に見易さや分かり易さが評価された。このことは作成時に特に気を使っていたことなので評価されてありがたい」「今後も多くの村民の皆さまに議会広報を通して正確な情報をお伝えしていきたい」との言葉がありました。



パネルを用いて村の取り組みを説明



参加議員で記念撮影

なつかしい風景「草小積み」を展示しています

11月13日「あそ望の郷くぎの」において、地元の猶須牧野組合の皆さん6人が2基の草小積みを製作されました。草小積みは、ススキなど草原の野草を乾燥させた干し草を束ね、積み上げて作る草の保存庫のようなものです。昭和の40年代頃まで、阿蘇の草原にずらりと並ぶその姿は秋から冬にかけての地域の風物詩でした。しかし、近年では牧草地への転換や機械化などが進み、草小積みは牧草ロールへと変化し草小積みを見かけることは少なくなりました。

阿蘇地域世界農業遺産推進協会では草小積み技術の伝承のため、2016年度より阿蘇郡市の牧野組合の皆さまにご協力いただいて草小積みを製作・展示しています。

この、「あそ望の郷くぎの」の草小積みは3月頃まであか牛像の近くに展示していますので、ぜひ皆さまご覧ください。



「はたちの献血」キャンペーン ～いつかしようを、今にしよう。はたちの献血～

1月～2月は「はたちの献血」キャンペーンの期間です。みんなで、献血の輪を広げましょう！ 400ml献血・成分献血にご協力ください。

冬期は献血者が減少しがちで、輸血用血液が不足しやすい季節です。このため、熊本県では1月～2月の2カ月間、成人式を迎える「はたち」の若者を中心に、広く県民の皆さまに対して献血を呼びかけています。特に若い人たちで、献血をしたことがない人は、是非ご協力をお願いします。

なお、本村への献血バスの令和2年12月の運行予定は24日(木)となっておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。県内での献血会場や、献血バスの運行スケジュールについては日本赤十字社のホームページをご確認ください。



日本赤十字社
HP

ご協力を
お願いします！

